

熊野市内の農業用水路をフィールドとしたマイクロ水力発電装置の実証実験の開始について

NTN株式会社先端技術研究所（桑名市）は、熊野市新鹿（あたしか）小中学校周辺の農業用水路をフィールドとして、持ち運び可能なマイクロ水力発電装置※の事業化に向けた実証事業を平成25年12月から開始しました。
※マイクロ水力発電装置（わずかな流れで発電可能な使える超小型水車による発電）

今後、マイクロ水力分科会を運営し、非常時における活用方法、県内他地域へ展開するための諸課題・条件等の検討、マイクロ水力発電装置を活用した学校への環境教育の実施などについて意見交換を行い、熊野市と連携して地域課題解決型の商品開発に向けた取組を支援していきます。

1. 実証目的 商品開発に向けた課題抽出
2. 実証場所 熊野市新鹿小中学校周辺の農業用水路（1か所）
3. 実証期間 平成25年12月4日から1年間の予定
4. 発電出力 最大50W（携帯電話10台充電可、通常5～15W程度）
5. 地域の関わり 熊野市新鹿町自治会がマイクロ水力発電の日常メンテナンス作業（水車周辺への落葉等の除去作業など）をボランティアで実施
6. 利活用方法 平常時は蓄電池に蓄えられた電気を新鹿小中学校近くの避難経路の夜間照明として活用（LEDライト5台）
非常時は蓄電池を持ち運んで携帯電話等の充電に活用

